

地域おこし協力隊の活動日記

飛騨市内で活動している地域おこし協力隊。
市内に存在するさまざまな地域資源を活用し、地域の特色を活かした産業の創出を図ります。



地域おこし協力隊の活動内容紹介
〜続・ワラビ粉活動〜

隊員 前原 融

飛騨市の皆様、こんにちは！

二度目の冬と雪に翻弄されつつも何とか元気に活動させて頂いております。前原です。山之村の今年の雪は、一度に降る量は去年より少なめですが、やや頻繁に降っているような印象です。また、かなりの冷え込みが続き、朝は室内



↑ 出発前の重機の様子

がマイナス5℃になったり、浴室のカーンが凍って壊れたり様々なアクシデントにも見舞われました(笑)。

そんな二年目の冬ですが、去年とは少し変わったことがあります。それは、除雪の仕事に参加させて頂いていることです。秋までに大型特殊免許を取得し、作業系建設機械(整地等)の講習を受け、現在はロータリー除雪車のオペレーター見習いをしています。

除雪の仕事はだいたい午前2時〜午前3時頃に始まります。
普通の乗用車とはかなり勝手が違うのでなかなか慣れませんが、ベテランの先輩方に少しでも近づけるよう、がんばって覚えようと思います。

去年、慣れない屋根の雪下ろしに追われていた中、眺めているだけだった除雪車に今年は乗るようになったというのは個人的に感慨深いものがあります。

また、雪下ろしや寒干し大根等のこの時期ならではの仕事も去年に引き続きやっています。雪下ろしには少し慣れ、翌日筋肉痛になる事はほぼ無くなりました。寒干し大根の作業も一連の流れがわかり、去年よりは多少効率よく作業できるようになりました。こんな風に毎日何かしらの仕事があるような活動2年目の冬を送っています。

これまでの活動の中で、山之村の仕事を色々手伝わせて頂きました。「年間を通じての仕事」は確かに少ないですが、季節ごとに人手を必要とする仕事は確実に存在するということがわかり



↑ 寒干し大根の作業風景

ました。

その中には山之村ならではの仕事もあれば、山之村の人技術だからこそできる仕事もありました。わらび粉をその内の1つに数えられるようにしていきたいですし、それらの仕事が「後継者がいないから」という理由で無くなってしまうのはとても寂しいことだと感じています。

今後の活動で、自分なりにそんな「山之村のしごと」を少しでも効率的にできるような仕組みができないか、これまでの経験を活かして模索していきたいと考えています。

まだまだ寒い日が続きますが、体調管理をしっかりと頑張っていきたいと思います！